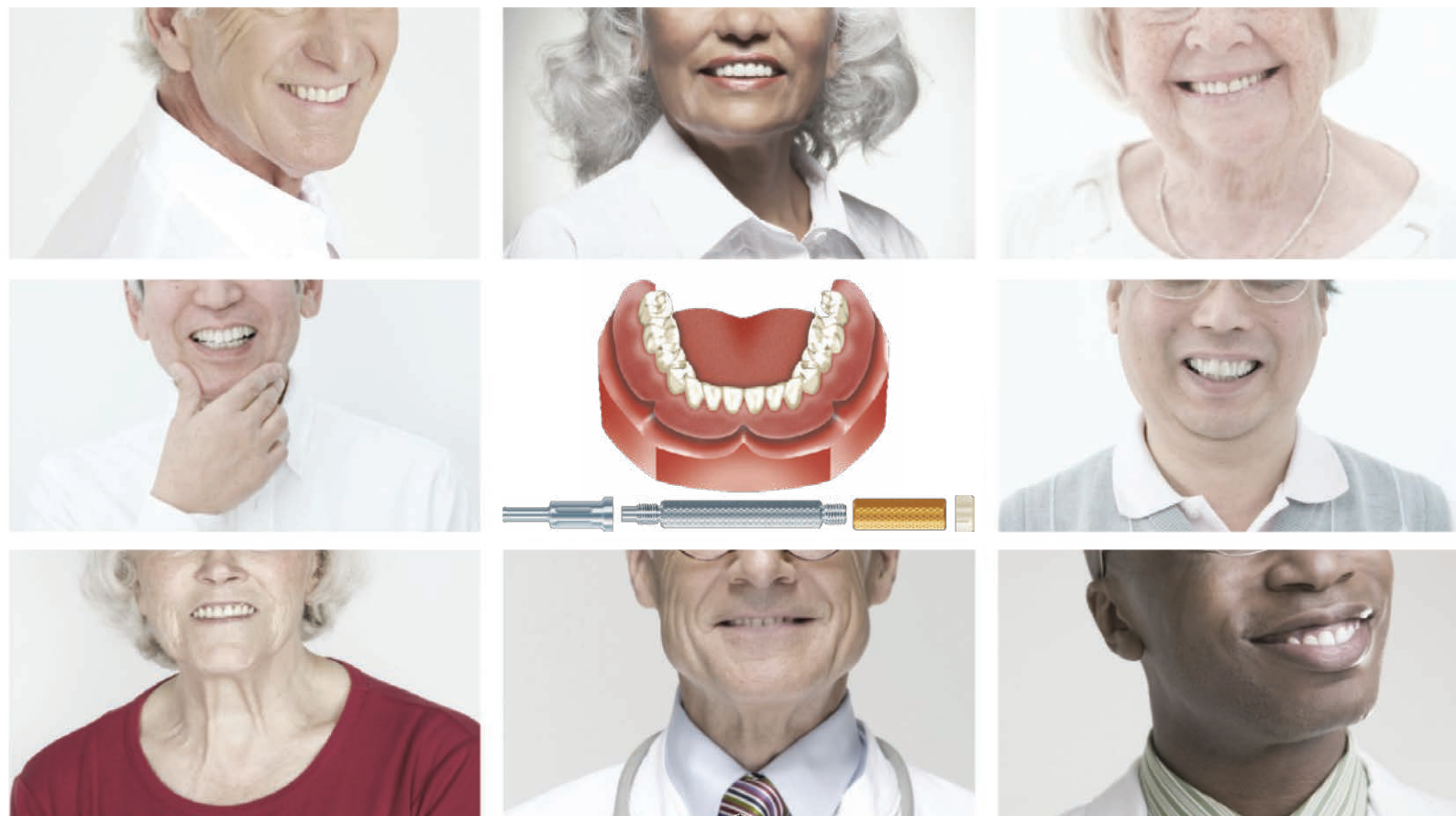


LOCATOR[®]

製品カタログ & 臨床技工マニュアル



2022年11月

CONTENTS

概要	2
製品カタログ	3 - 4
使用方法	5 - 6
インプラントアタッチメント	7 - 12
インプラントアタッチメント製作手順	
FAXオーダーシート	13
How to order —ご注文について—	14

ロケーターアタッチメントの摩耗(劣化)について

1「ロケーターアタッチメントのメール部の保持力低下につながる事例について」

- ①ロケーターアタッチメントの維持部（アバットメントとリテンションインサートの接触部分）に、稀に過度の摩耗が見られることがあります。アバットメント外側の窒化チタン（TiN）コーティングが剥がれ、内部のベースメタル部分まで摩耗が進行したり、リテンションインサートの内面にも摩耗が見受けられます。
- ②維持部の摩耗は、片側だけに集中して見られることが多いです。

2「摩耗の原因について」

- ①一般的にリテンションインサートの内面やロケーターアバットメントのソケット内部に歯垢が蓄積し、その蓄積により削られ、高い頻度で摩耗が起こります。毎日、義歯を取り外しする際に、内面についている歯垢が維持力を低下させます。
- ②リテンションインサートが推薦されている範囲（インプラント間の開き角）を超え、誤って使用した場合に摩耗が起こります。
※リテンションインサート 0° -10° を使用時20° 以内、リテンションインサート 10° -20° を使用時40° 以内。
- ③不具合によってリベースを行った場合、患者様自身のブラキサー（過度な咬合力）や、かみタバコを使用した場合。さらに研磨剤入り歯磨材（歯みがき粉）の使用など、複数の要因で摩耗が進行します。

3「再発防止のための注意事項について」

●歯科医師の皆様へお願い

- ①摩耗したアタッチメントは交換してください。
- ②装着後、患者様のメンテナンスを年間に3～4回行い、衛生面のチェックと指導を行ってください。
- ③メンテナンスの際、義歯が歯肉に完全に接触しているか確認します。ロケーターオーバーデンチャーシステムは軟組織により維持されており、義歯全体が軟組織と完全に接触しているか、またはロケーターアバットメントに対して、カンチレバーの影響があるかが重要になってきます。カンチレバーの咬合力はアバットメントを大幅に摩耗させる原因となります。
- ④オーバーデンチャーのリラインは軟組織に対して、しっかり適合させるために必要です。
- ⑤メンテナンスの際、メール内部に多量の歯垢蓄積が見られた場合は、メール部を交換することを推奨します。
- ⑥装着時のトルク値や、新しく交換されたアタッチメントの摩耗パターンを観察すると同様に、インプラントの角度やオーバーデンチャーによりアタッチメントにかかる荷重を確認してください。

●患者様へのお願い

- ①患者様には極力、研磨剤の少ない歯磨材（歯みがき粉）を推奨ください。またブラッシング後は歯磨材を完全に取り除くため、すすぎの回数を増やしてください。
- ②患者様自身が、アバットメント内部のソケット部分を清潔に保つために、ウォーター洗浄タイプの機器を使用することは大変に有効なことです。

ロケーターオーバーデンチャーのアタッチメントを用いた補綴オプション

- ・ロケーターアタッチメント システムは、上顎・下顎のオーバーデンチャーまたは部分床義歯と併用し、インプラントまたは天然歯で保持することを目的に設計されています。
- ・無歯顎の症例では、上顎に4本以上、下顎に2本以上のインプラントの使用を推奨します。
- ・ロケーターアタッチメント システムのセルフアライメント機構は、アバットメント上にアタッチメントをスムーズに導き、患者様が簡単に正しい場所に義歯を戻すことができる構造です。
- ・ロケーターアタッチメント システムはアバットメントと義歯内のアタッチメントが弾力的に固定します。
- ・ロケーターアタッチメントは薄型デザインなので、多種多様な症例に対して、効果的な治療オプションとなります。またアバットメントは様々なカフの高さがあり、広い範囲で軟組織の厚みにも対応が可能です。カフの高さは、歯肉の厚みを測定し、測定長と同等もしくはそれより一つ長めのサイズを選択してください。歯肉の厚みを正確に測定することで、周囲組織と調和してアタッチメントを設置することが可能です。
- ・ロケーターアタッチメントは摩耗に対する優れた耐久性があり、長期にわたり機能を維持することができます。

図1：ロケーターオーバーデンチャーの補綴フローチャート

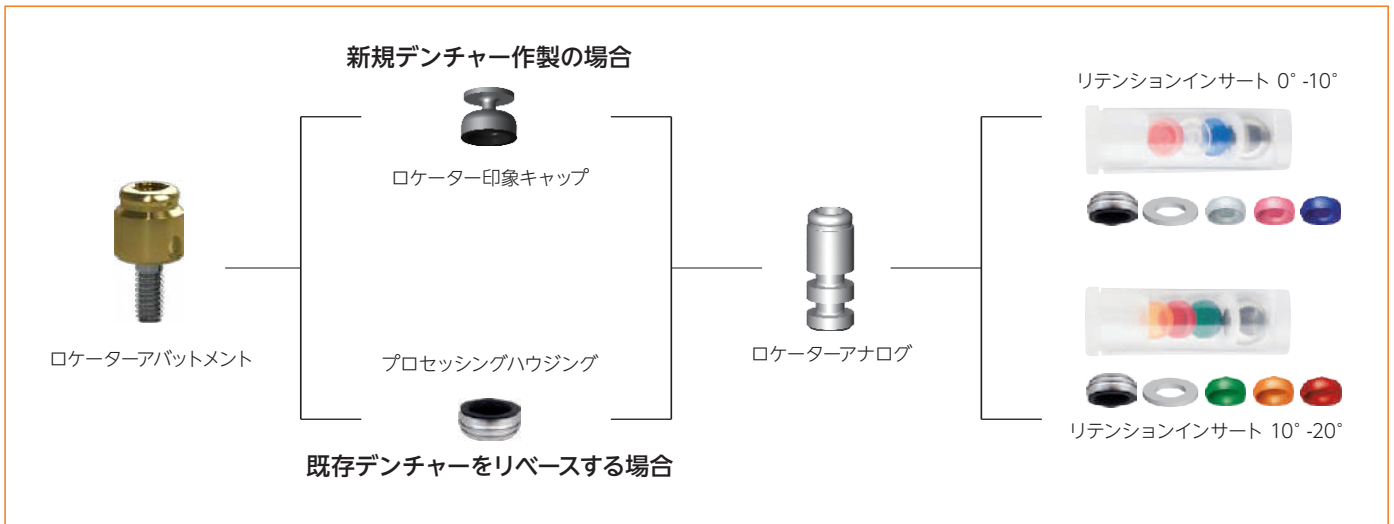
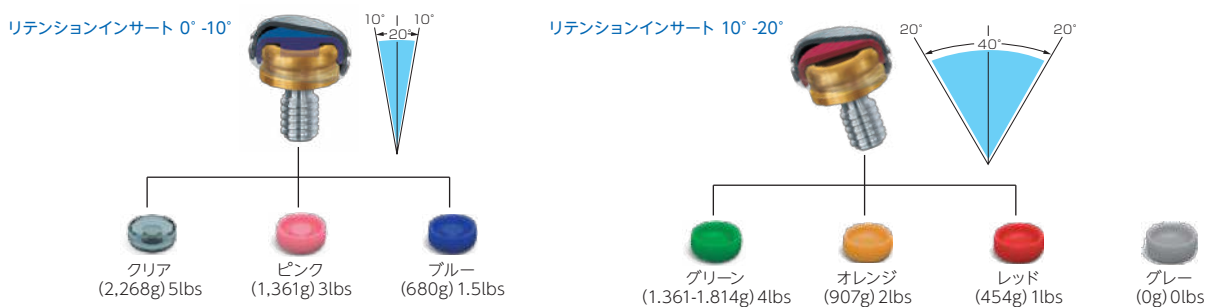


図2：リテンションインサートの種類

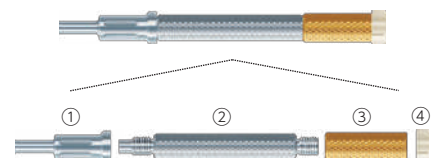


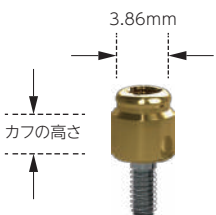
リテンションインサートを選択することによって、柔軟な使用方法とさまざまなレベルの保持力を与える事が可能です。

- ・インプラント間の開き角が20° 以内の場合、3種類（ブルー（680g）、ピンク（1,361g）、クリア（2,268g））の保持力レベルのリテンションインサートが用意されています。
- ・インプラント間の開き角が40° 以内（インプラント1本につき20° ）の場合、4種類（グレー（0g）、レッド（454g）、オレンジ（907g）、グリーン（1,361-1,814g））の保持力が選択できます。
- ・ロケーターアタッチメントは完全に強固な固定が要求されたり、1本あたり20° 以上の傾斜が付いているインプラントまたはインプラント間の開き角が40° を超える場合は用いる事はできません。

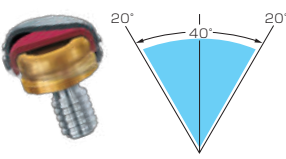
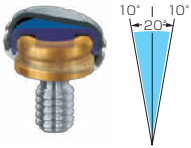
図3：ロケーター用インスツルメントは、補綴の全過程で使用される下記の部品から構成されています。

- ① ロケーターメールリムーバル
- ② メールシーディングツール
- ③ ロケーターアバットメント ドライバー
- ④ ロケーターアバットメント ホルダースリーブ（※アバットメント装着時に使用します。）



ロケータアタッチメント	製品番号							
	プラットフォーム	カフの高さ						
	● $\phi 3.0\text{mm}$	—	1.2mm	2mm	3mm	4mm	5mm	6mm
	● $\phi 3.5\text{mm}$	0mm	1.2mm	2mm	3mm	4mm	5mm	6mm
	● $\phi 4.5\text{mm}$	0mm	1.2mm	2mm	3mm	4mm	5mm	6mm
	● $\phi 5.7\text{mm}$	—	1.2mm	2mm	3mm	4mm	5mm	6mm
※品番はお問い合わせください。 ※0mmは在庫が無くなり次第販売終了となります。 ・Titanium alloy [Ti-6Al-4V]								

		製品番号
ロケータ用インストルメント		VA-J2253.0002
リテンションインサートセット 10°-20° (2入) (内容物)各1個 ロケータプロセッシングハウジング (ロケータプロセッシングインサート装着済) ロケータブロックアウトスペーサー ロケータリテンションインサート グリーン ロケータリテンションインサート オレンジ ロケータリテンションインサート レッド		VA-J2253.0112
リテンションインサートセット 0°-10° (2入) (内容物)各1個 ロケータプロセッシングハウジング (ロケータプロセッシングインサート装着済) ロケータブロックアウトスペーサー ロケータリテンションインサート クリア ロケータリテンションインサート ピンク ロケータリテンションインサート ブルー		VA-J2253.0102
ロケータデンチャーキャップセット (4入)		VI-002-100091L4
ロケータ印象キャップ (4入)		VA-J2253.0200
ロケータアナログ (4入)	3.3-4.3 ($\phi 3.0\text{mm}$ $\phi 3.5\text{mm}$ $\phi 4.5\text{mm}$ 用)	VA-J2253.0340
	5.0 ($\phi 5.7\text{mm}$ 用)	VA-J2253.0350
ロケータプロセッシングインサート (4入)		VA-J2253.0402
ロケータブロックアウトスペーサー (20入)		VA-J2253.0401
ロケータプロセッシングスペーサー (4入)		VI-002-1000100L4

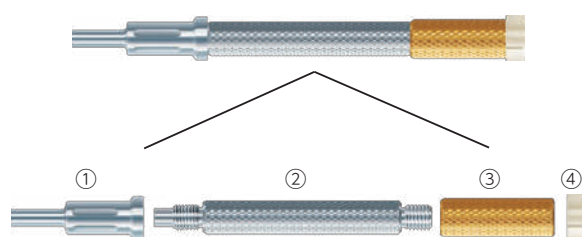
			製品番号
ロケーターアングル測定ガイド			VA-J2253.0003
ロケーターパラレルポスト (4入)			VA-J2253.0004
ロケーター リテンションインサート 10°-20° (4入)	グレー (ゼロ) (0g)		VA-J2253.2000
ロケーター リテンションインサート 10°-20° (4入) 	弱	レッド (ライト) (454g)	VA-J2253.2002
	維持力	オレンジ (ミディアム) (907g)	VA-J2253.2003
	強	グリーン (ストロング) (1,361-1,814g)	VA-J2253.2004
ロケーター リテンションインサート 0°-10° (4入) 	弱	ブルー (ライト) (680g)	VA-J2253.1002
	維持力	ピンク (ミディアム) (1,361g)	VA-J2253.1003
	強	クリア (ストロング) (2,268g)	VA-J2253.1005
ロケータースクェアドライバーレンチ	(15mm)		VI-003-LDTS
	(21mm)		VI-003-LDT
ロケータードライバーCA	(23mm)		VI-003-LDDS
	(29mm)		VI-003-LDD

ロケータ用インストルメントの構成

ロケータ用インストルメントは、左図のパーツでされた組み立て式のインストルメントです。

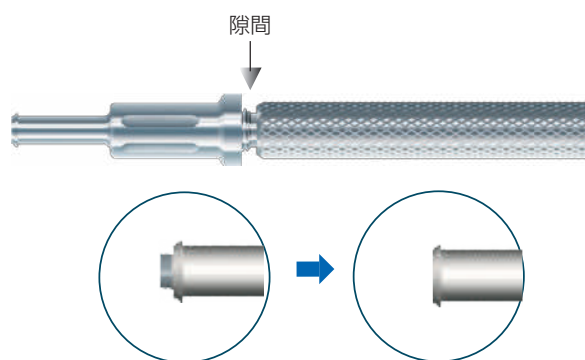
- ① ロケータメールリムーバル
- ② メールシーティングツール
- ③ ロケータアバットメント ドライバー
- ④ ロケータアバットメント ホルダースリーブ

※ロケータアバットメント ホルダースリーブは、アバットメント装着時に使用します。



ロケータ用インストルメントの使用方法①

ロケータメールリムーバルは、ロケータプロセッシングハウジングからリテンションインサートを取り外す際に使用します。メールリムーバルを2回転し、先端から内蔵されているピンが隠れているように緩めます。メールリムーバルとメールシーティングツールの連結部分に隙間ができるよう緩めて使用します。



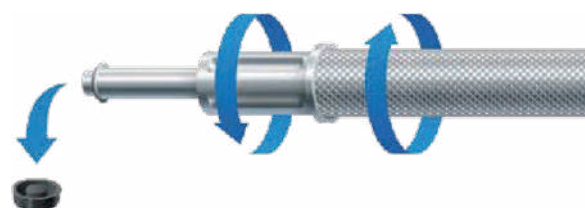
ロケータ用インストルメントの使用方法②

ロケータプロセッシングインサートが装着されたロケータプロセッシングハウジングに、メールリムーバルをまっすぐに差し込みます。ロケータリテンションインサートに尖った先端を引っ掛け、ロケータプロセッシングハウジングから外します。



ロケータ用インストルメントの使用方法③

メールリムーバルとメールシーティングツールの連結部分に隙間がなくなるまで時計回りに回転させます。メールリムーバルの先端からピンが押し出され、ロケータリテンションインサートが外れます。





ロケータ用インスツルメントの使用法④

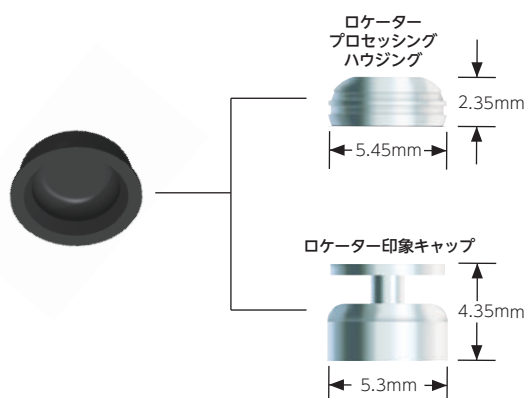
メールシーティングツールは、ロケータプロセッシングハウジングにロケータリテンションインサートを装着する際に使用します。ロケータリテンションインサートをロケータプロセッシングハウジングにカチッと音がするまで押し付け装着します。

※ ロケータプロセッシングハウジングにロケータリテンションインサートを装着する際は、必ずメールシーティングツールを使用してください。ロケータメールリムーバルを使用し装着すると、尖った先端によりロケータリテンションインサートを破損する恐れがあります。



ロケータ用インスツルメントの使用法⑤

ロケータアバットメントホルダースリーブを使用すると、口腔内に脱落しないようアバットメントを保持しながらインプラントに装着することができます。アバットメントホルダースリーブは、高圧蒸気滅菌が可能です。

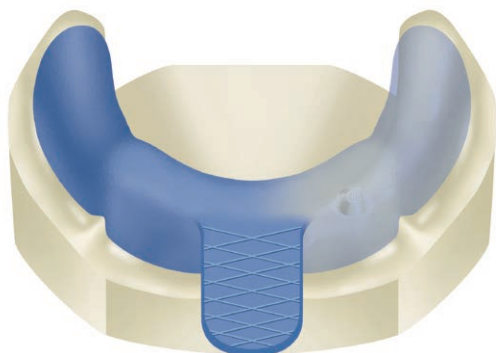


ロケータプロセッシングインサート

ロケータプロセッシングハウジングとロケータ印象キャップには、ロケータプロセッシングインサートがあらかじめ組み込まれています。このロケータプロセッシングインサートは、ロケータリテンションインサートのスペースを保つために使用します。また、義歯を研磨する際にロケータプロセッシングハウジングの保護に役立ちます。

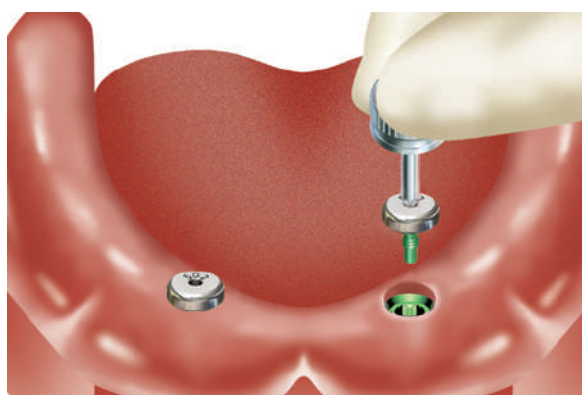
義歯の調整の際はロケータプロセッシングインサートを使用し、最終的に口腔内に義歯を装着する際は、ロケータプロセッシングハウジング内のロケータプロセッシングインサートは、必ずカラーのロケータリテンションインサートに取り替えます。

インプラントアタッチメント製作手順



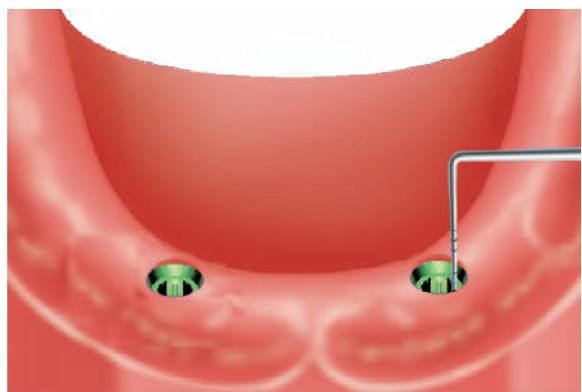
1. 各個トレイの作製

- ・トレイ用レジンを使用し、通常のフローズドトレイ用の各個トレイを作製します。



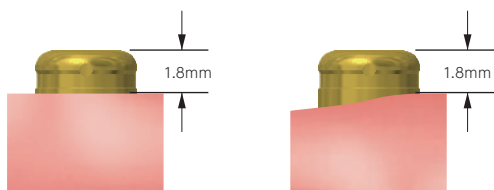
2. ヒーリングアバットメントの除去

- ・ヘックスドライバー0.050" (1.25mm) を用い、インプラントからヒーリングアバットメントを除去します。
- ・インプラントの上面に硬組織や軟組織で覆われていないことを確認します。



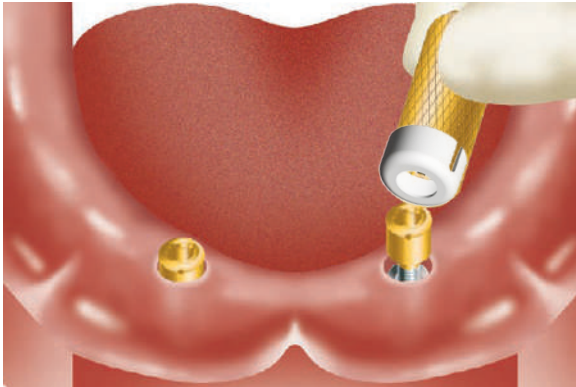
3. アバットメントの選択

- ・各インプラントに対して歯肉の一番高いところを決定し、ロケータアバットメントの高さを選択します。歯肉の一番高い部分と同じカフ長または、それよりも1サイズ長めのアバットメントを選択してください。



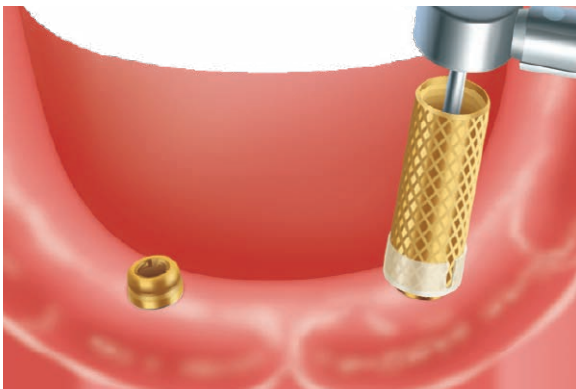
- ・正しい高さのアバットメントの選択は、アバットメント上部1.8mmが歯肉縁上に出るようにします。

インプラントアタッチメント製作手順



4. アバットメントの装着

- ・各インプラントにアバットメントを装着します。
- ・口腔内に脱落しないよう、ロケータアバットメントホルダースリーブを用い、ロケータ用インスツルメント専用のロケータアバットメントドライバーを使用し手で締結します。

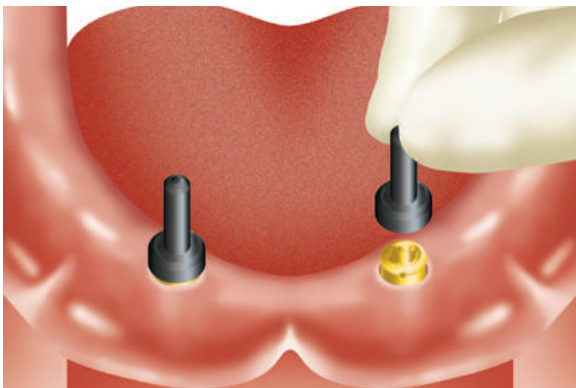


5. アバットメントの締結

- ・アバットメントをトルクレンチを用い30Ncmで締結します。

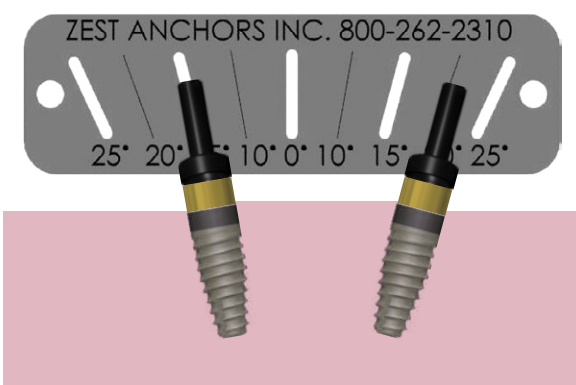
※左図は、ロケータアバットメントドライバー にヘックスドライバー0.050" (1.25mm) を挿入し、トルクレンチを用い30Ncmで締結する方法を示します。

- ・お持ちのトルクレンチやハンドピースによってドライバーの種類が異なります。



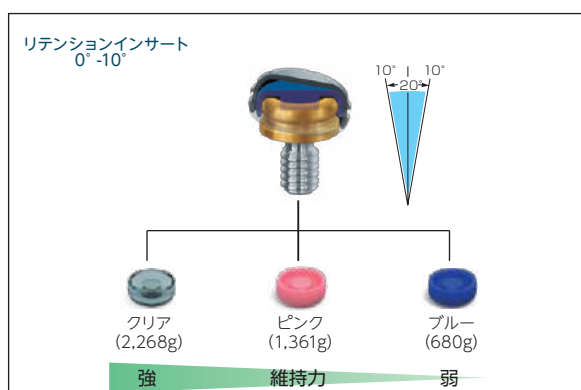
6. インプラント間の角度測定

- ・各アバットメントにロケータ平行ポストを装着します。



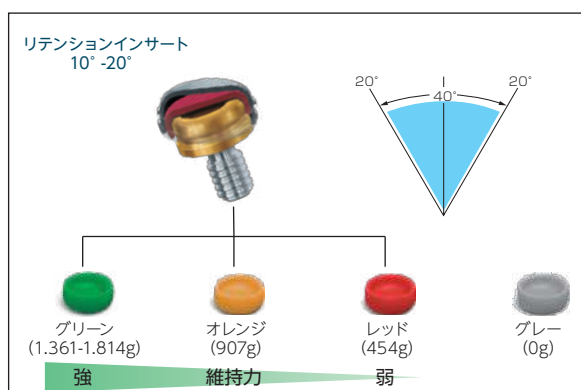
- ・ロケータアングル測定ガイドを用いて、着脱方向に対するインプラントの傾斜角と、インプラント間の開き角を測定します。

インプラントアタッチメント製作手順

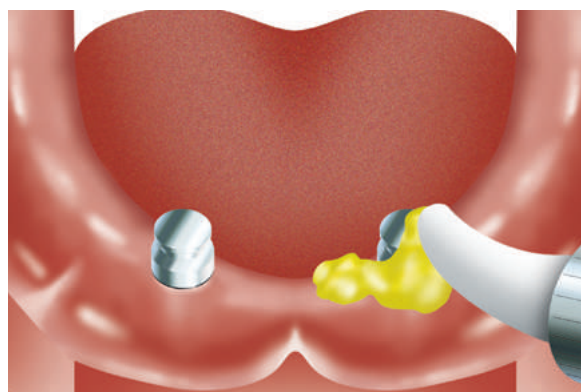


7. リテンションインサートの選択

- インプラント間の開き角が20°以下である場合、ブルー (680g)、ピンク (1,361g)、クリア (2,268g) のいずれかのリテンションインサート 0°-10° を使用します。



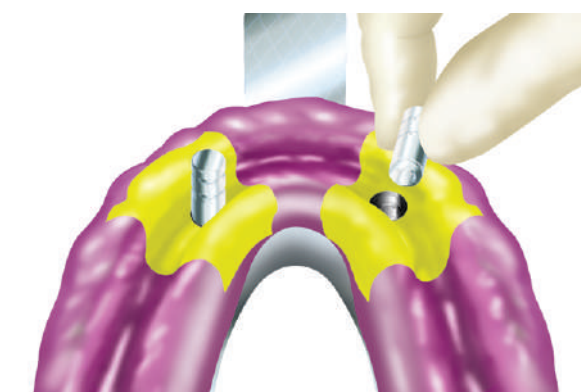
- インプラント間の開き角が40°以下である場合、グレー (0g)、レッド (454g)、オレンジ (907g)、グリーン (1,361-1,814g) のいずれかのリテンションインサート 10°-20° を使用します。



8. 印象採得

- それぞれのアバットメント上にロケーター印象キャップを装着します。
- “ウォッシュテクニック”を用い、弾性印象材 (ポリビニルシロキサンまたはポリエーテルラバー) を使用し、全顎印象を採得します。
- 模型作製のため印象を技工所に送ります。

※ウォッシュテクニック (Wash Technique) : 有床義歯の印象採得法
軽微な圧力で印象材をゆきわたらせ、印象圧による顎堤粘膜の変形をできる限り小さく、細部の精密な形態を再現する方法。



9. 模型作製

- 採得した印象の各ロケーター印象キャップにロケーターアナログをしっかりと装着します。
- 印象に石膏を流し込みアナログ模型を作製します。



ロケーターアナログ 3.3-4.3

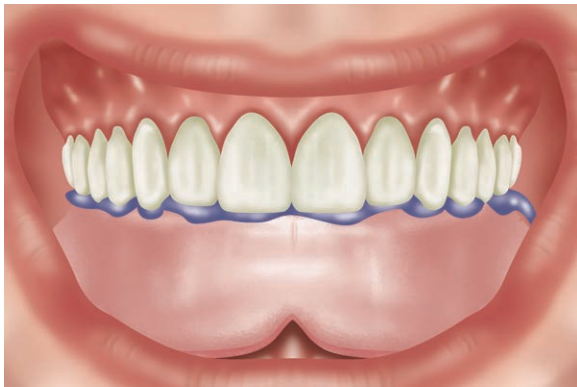
- 3.0mmD
- 3.5mmD
- 4.5mmD



ロケーターアナログ 5.0

- 5.7mmD

インプラントアタッチメント製作手順



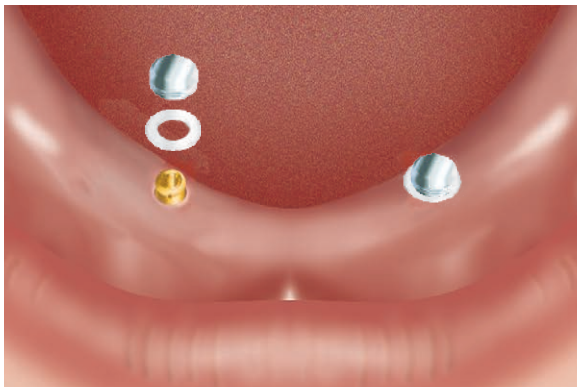
10. 咬合採得

- ・ 通法に従い咬合床を作製し、咬合採得します。
- ・ 人工歯排列のため咬合床を技工所に送ります。



11. 人工歯排列

- ・ ラボサイドにて咬合床の上に人工歯排列を行います。
- ・ 口腔内で試適し、審美性や発音を考慮にいれ調整を行います。
- ・ 調整したろう義歯を技工所に送ります。

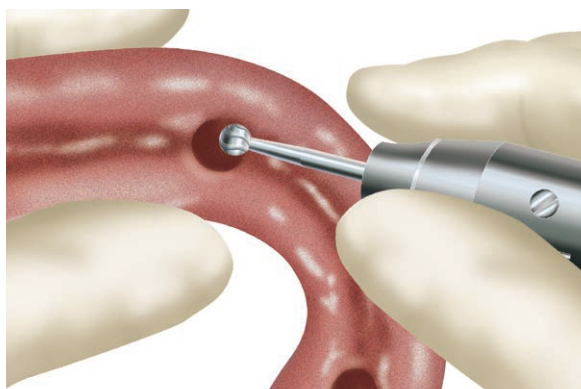


12. ロケータプロセッシングハウジング装着

- ・ ロケータブロックアウトスペーサーを各アバットメントに装着し、レジンがアバットメントの下に入り込まないようにブロックアウトします。
- ・ ロケータプロセッシングハウジングをしっかりと装着します。

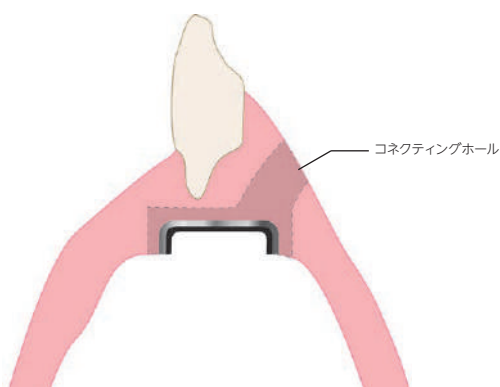
※ブロックアウトスペーサーを用いても歯肉とプロセッシングハウジングに隙間がある場合は、ブロックアウトスペーサーを2枚重ねるなどの対処をし、残っているアンダーカットを塞いでください。

インプラントアタッチメント製作手順



13. 義歯の試適・削合

- ・ 義歯の試適をします。義歯内面にロケータープロセッシングハウジングが納まる十分なスペースがあることを確認します。
- ・ ロケータープロセッシングハウジングが義歯内面に干渉する場合は削合します。



- ・ 義歯の舌側面にコネクティングホール(余分なレジン escapes 穴)を作製しておきます。



14. レジンにて合着

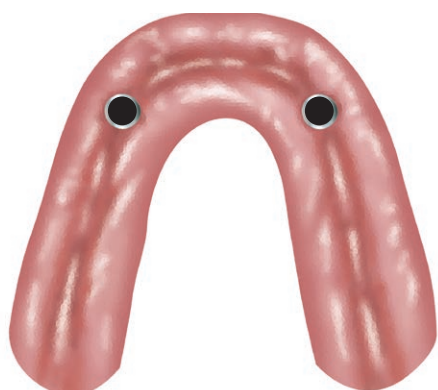
- ・ 使用する即時重合レジン(Immediate Cure Resin)の用法に従い、義歯内面に付与したスペースにレジン(Resin)を充填します。義歯を口腔内に適合させてレジン(Resin)を硬化させます。

※粘膜に過度の咬合圧をかけない状態で重合します。

15. 研磨

- ・ レジンが硬化したのちに、ロケータープロックアウトスペーサーを取り外し、ロケータープロセッシングハウジング周辺の過剰レジン(Excess Resin)を調整し、不足分を充填します。
- ・ 研磨します。

※研磨時にロケータープロセッシングインサートがロケータープロセッシングハウジングを保護するので、ロケータープロセッシングインサートが付いたまま研磨してください。

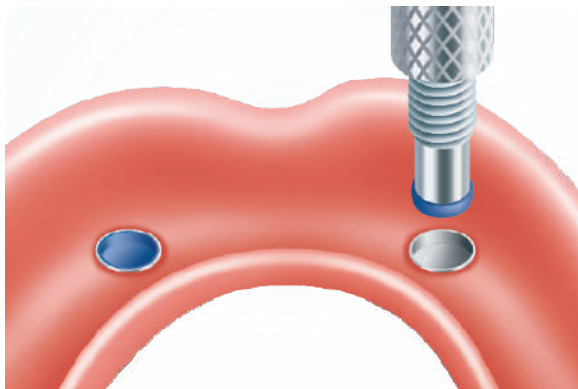


インプラントアタッチメント製作手順



16. ロケータプロセッシングインサート除去

- ・ロケータメールリムーバルを使用しロケータプロセッシングインサートを除去します。
- ・メールリムーバルを2回転させ緩め、尖った先端をメールの底に強く押し込み、ロケータプロセッシングハウジング内のロケータプロセッシングインサートをしっかり保持します。ロケータプロセッシングハウジングに沿って引き抜いてください。



17. ロケータリテンションインサートの装着

- ・メールシーティングツールを使用し、ロケータリテンションインサートを装着します。ロケータリテンションインサートがロケータプロセッシングハウジングと同じ高さまで押し込まれていることを確認します。

※最初は、少しずつ弱い維持力から上げることをお勧めします。



18. 完成義歯装着

- ・完成した義歯を口腔内に装着します。
- ・咬合をチェックします。
- ・必要とされる維持力が得られているか確かめてください。
- ・患者様に義歯の挿入方向を指示し、義歯を数回着脱してください。

FAXオーダーシート

No.

●ご注文の際は、このオーダーシートを都度コピーしてご利用ください。

ご注文日	20 年 月 日 ()	ご担当者名	様
医院名			
ご住所	〒		
TEL	— —	FAX	— —
希望納期	20 年 月 日 () / 午前 ・ 午後	弊社営業担当	

●上記とお届先が異なる場合はご記入ください。

お届先		希望納期	20 年 月 日 () / 午前 ・ 午後
ご住所	〒		
TEL	— —	FAX	— —

- 平日 16 : 00 までのご注文分につきましては、当日発送いたします。16 : 00 以降のご注文分については、翌営業日の発送となります。
- 納期日に関しましては、地域・天候・交通事情等によりご希望に沿えない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 通常便以外については別途料金が必要となります。1 納品先 1 回のご注文が 5,000 円(税込 5,500 円)未満の場合、800 円(税込 880 円)をご請求させていただきます。
- お急ぎの際は FAX 送付後、右記までお電話ください。(TEL.03-3238-7560)

	製品番号	製 品 名	個数(右詰)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
備考欄			

Caiman Dental

番号をお確かめの上、ご送信ください。

送信方向

FAXオーダー専用フリーコール
0800-700-9898

How to order

ご注文について

ご注文のご案内

本カタログに掲載の製品をご注文の際には、包装単位、価格および製品番号をご確認の上、必ず製品番号でご注文いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

お願い

- 製品番号以外でのご注文は受けかねますのでご了承ください。
- 製品によりご注文後2週間程度かかる場合があります。
- 表示価格は全て税抜きです。

ご注文先

ご注文は電話・FAXにて承ります。

FAXでのご注文は「FAXオーダーシート」にご記入の上、ご注文ください。

株式会社 カイマンデンタル

〒102-0082 東京都千代田区一番町8番地15 一番町MYビル2F

●ご注文

TEL.03-3238-7560

FAX.03-3238-7561 または **0800-700-9898** (フリーコール)

●問い合わせ

TEL.03-3238-7560 (9:00~18:00) ※土・日・祝日:休み

製品発送のご案内

- 平日16:00までのご注文分につきましては、当日発送いたします。16:00以降のご注文分については、翌営業日の発送となります。
- 納期日に関しましては、地域・天候・交通事情等によりご希望に沿えない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 通常便以外については別途料金が必要となります。1納品先1回のご注文が5,000円(税込5,500円)未満の場合、800円(税込880円)をご請求させていただきます。
- お急ぎの際はFAX送付後、右記までお電話ください。(TEL.03-3238-7560)
- 返品および交換はできません。

掲載の製品について

- 製品の改良のため外観やパッケージ、仕様、販売価格など予告なく変更することがございます。
- 掲載の製品は製造元による製造終了や弊社の輸入終了に伴い、予告なく販売を終了することがございます。予めご了承ください。

ロケーターアパットメント BH
カムログアパットメントロケーター
カムログロケーター上部構造材
インプラントダイレクトオーバーデンチャーアタッチメント
ロケーターアナログ
ロケーター補綴用器具
ロケーター印象キャップ
ドライバーツール
技工用ツール

医療機器承認番号	【クラスⅢ】	22600BZX00381000
医療機器承認番号	【クラスⅢ】	22700BZX00379000
医療機器認証番号	【クラスⅢ】	227AKBZX00067000
医療機器認証番号	【クラスⅡ】	228ALBZI00002000
医療機器届出番号	【クラスⅠ】	27B1X00027000095
医療機器届出番号	【クラスⅠ】	27B1X00027000116
医療機器届出番号	【クラスⅠ】	27B1X00027000117
医療機器届出番号	【クラスⅠ】	13B1X00053AD0006
医療機器届出番号	【クラスⅠ】	13B1X00053AD0004

●販売業者

Caiman Dental

株式会社 カイマンデンタル

〒102-0082 東京都千代田区一番町8番地15 一番町MYビル

TEL.03-3238-7560 / FAX.03-3238-7561

<https://www.caimandental.com>

- 製造販売業者 ジンマー・バイオメット・デンタル合同会社
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町1-1 住友市ヶ谷ビル2F
- 製造業者 ZEST DENTAL SOLUTIONS
2875 Loker Avenue East, Carlsbad, CA 9200010 USA
- 製造販売業者 株式会社アルタデント
〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2-8-31 第三東洋ビル2F
- 製造業者 Altatec GmbH
Maybachstr 5, 71229 Wimsheim, Germany
- 製造販売業者 株式会社インプラテックス
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-33-19
- 製造業者 Implant Direct Sybron Manufacturing, LLC
3050 E Hillcrest Dr Westlake Village, CA 91362 USA